

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		岩手県立大学		設置者名		公立大学法人岩手県立大学		
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成21年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
看護学部	看護学科	90人	高一種免(保健)	平成17年度	92人	12人	11人	0人
			養教一種免	平成17年度			12人	
社会福祉学部	福祉経営学科	45人	高一種免(福祉)	平成17年度	54人	2人	2人	0人
			高一種免(公民)	平成19年度			0人	
	福祉臨床学科	45人	高一種免(福祉)	平成17年度	56人	15人	1人	1人
			高一種免(公民)	平成19年度			1人	
幼一種免	平成19年度	13人						
ソフトウェア情報学部	ソフトウェア情報学科	160人	高一種免(情報)	平成17年度	127人	1人	1人	0人
総合政策学部	総合政策学科	100人	中一種免(社会)	平成17年度	111人	7人	3人	0人
			高一種免(地理歴史)	平成17年度			2人	
			高一種免(公民)	平成17年度			2人	
入学定員合計		440人	合計		440人	37人	48人	1人
大学名		岩手県立大学(大学院)		設置者名		公立大学法人岩手県立大学		
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成21年度)			
研究科	専攻等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
看護学研究科	看護学専攻	15人	養教専免	平成17年度	6人	2人	2人	0人
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	15人	高専免(福祉)	平成17年度	9人	0人	0人	0人
ソフトウェア情報学研究科	ソフトウェア情報学専攻	40人	高専免(情報)	平成17年度	31人	0人	0人	0人
入学定員合計		70人	合計		46人	2人	2人	0人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成22年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄には各学科等の実人数を、「個別」欄には各学科等内の教職課程ごとの人数である。							

実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成22年7月8日（木）

実地視察大学：岩手県立大学

実地視察委員：八尾坂委員、（体調不良により1人欠席）

■ 大学の教員養成に対する全般的な状況

<状況>

- ・4学部5学科で、教員養成を行っている。

<講評>

- ・大学として、組織的に取り組む姿勢があり評価出来るが、教員養成に関する教育課程、教員組織等について、教職課程認定基準等と照らし合わせ、改善が求められる点があるため、早急に是正すること。

■ 教員養成に対する理念、設置の趣旨等の状況

<状況>

- ・建学の精神のもと「豊かな教養と確かな専門性を兼ね備えた問題解決思考能力の高い教員」「人間性を重視し、地域との触れ合いを通して、地域に愛着を感じ、地域に信頼される熱意ある教員」を養成している。

<講評>

- ・設置理念、教員養成に対する理念・構想が明確化されており、それを具体化するために、教職課程に対する全学的な組織が整備されている。ただし、教育課程や教員組織について、一部改善が必要な事項があるため、早急に是正すること。

■ 教育課程（教職に関する科目等）、教員組織、履修方法及びシラバスの状況

<講評>

- ・同一名称の科目について、教員によって大幅に内容が異なるのは望ましくないため、教員間で調整する等して同じ内容に近づけること。（必要事項を含み、基準を満たした上で特色を出すのは構わない。）
- ・1単位あたりの授業時間数が十分に確保されていない科目が確認出来るため、きちんと確保されていることが確認出来るようシラバス上に明記すること。
- ・科目の開設体制について、基準上認められない科目が確認出来るため、早急に是正すること。
- ・各科目に含めるべき事項が含まれていない科目がいくつか確認出来るため、含むことがシラバス上確認出来るよう、明記すること。
- ・出席のみをもってプラスの評価を与える事が望ましくないため、評価方法を見直すこと。

■ 教育実習の取組状況

<状況>

- ・原則自己確保で出身校を優先している。
- ・必ず巡回訪問指導を行っている。

<講評>

- ・平成18年7月の中教審答申「今後の教員養成・免許制度の在り方について」を参照の上、大学の責任において実習校を確保し、大学の教員と実習校の教員が連携して指導に当たる機会を積極的に取り入れること。また、実習校により評価にばらつきが生じないように留意すること。

■ 学校現場体験・学校ボランティア活動などの取組状況

<状況>

- ・岩手県教育委員会及び県内の国公立大学と連携した事業、学校現場体験活動「スクールトライアル」「ラーニング・サポーター・プロジェクト」等に参加し、成果報告会の開催を予定している。

<講評>

- ・体験した活動を教職課程にどのようにフィードバックし活かしていくかを再考の上、より充実したものにしてほしい。

■ 教職指導及びその指導体制の状況

<講評>

- ・全学的な組織のもと具体的に取り組んでいる。

■ 教員養成カリキュラム委員会などの全学的組織の状況

<状況>

- ・全学教職課程委員会において、教職課程の円滑な組織運営とその充実改善を図っており、教育実習参加時の最終決定を行っている。

<講評>

- ・教職課程認定基準等を正確に理解・把握し、チェック体制を強化しながら全学的な組織がより充実したものとなるよう努めてほしい。

■ 施設・設備（図書等を含む。）の状況

<講評>

- ・施設・設備は充実している。

- ・ 図書について、数は非常に充実しているが、最新の学習指導要領、教科書並びに教職関連雑誌、絵本等を充実させ、学生が利用しやすいよう配置を工夫すること。